

# CASE 導入事例

京都伝統産業ミュージアム  
Kyoto Museum of Crafts and Design

## 事例01

### 京都伝統産業ミュージアム

- ・職人の想いを、AIアバターが届ける
- ・施設ガイド × 知識・魅力の伝承

## 課題

- ・伝統工芸の魅力を深く伝えたいが、スタッフの人数に限りがある
- ・インバウンド観光客への多言語対応が追いついていない
- ・職人の技術や想いを、来館者一人ひとりに届けたい

## ソリューション

実在する京友禅の職人をAIアバター化。糸目のり職人「REI」、挿し友禅職人「Futaba」、金彩職人「MORI」など、それぞれの工程を担当する職人の分身が、来館者と対話しながら技術や想いを伝えます。多言語対応により、世界各国からの来館者にも伝統工芸の魅力を届けています。

まずは無料相談から

